

# vegeta 新聞

## 今年雑草対策に力を入れる！

露地野菜生産部リーダーの重森さんに、春になって注意することをお聞きしました。「今年はデントコーンの栽培面積が最も多く、実がつく頃にはイノシシの食害発生が予測されるため、全栽培圃場に電気柵を設置。雑草にあたると漏電してしまうため、田畑のアゼの雑草対策に力を入れる予定です。」2~3週間おきにラウンドアップを散布し、早めの対応でいきたいとのこと。また、電気柵が正しく機能しているか、定期的な見回りが必須です。

キャベツに関しては、「毎年暖かくなってくると4月2週目あたりから虫の被害が出始めます。ここで1回目の病虫害防除を行い、栽培期間中は定期的に散布することになります。」とのこと。三次エリアは虫害の他に、苗を鹿に食べられることがあるため、引き続き定植後の圃場は要チェックでお願いします。

その他キャベツでは、6~7月にはカルシウム欠乏症、それに乾燥や窒素過多などの要因も加わると、6月にはあんこ病の症状が最も出やすい時期となります。そのため5月に入ってから、定期的な薬かけと共にカルシウム剤も同時散布し、これらの症状を予防します。雑草、虫、獣、病気など、対応が忙しくなりますが、早めの発見と予防が重要です。社員の皆さんは圃場の見回りで、早期発見と報告をお願いします。



【カルシウム欠乏】

上位葉の両脇に近い部分に水浸状の枯死斑。



【ホウ素欠乏】

上位葉の周辺部の枯死と奇形。  
(写真はタキイ種苗株式会社ホームページより)



【あんこ症】葉先が枯れる

## 満月前後は特に虫が活発に…！？

【直近の満月】  
4/6、5/6、6/4

有機栽培について調べていて、月の満ち欠けと農業の関わりについて学びました。新月前後は重力の関係で苗の成長や、種の発芽に強い作用が加わり、満月前後では虫や野菜の繁殖活動が活発になるとのことです。大規模農業では暦よりも効率性が重視されますが、昔ながらの考えが目安の一つになれば面白いと感じました。

## 今月の隙間タスクは 除草剤散布。

農作業がひと段落、機械の不調で待ち時間など、一瞬手が空いたとなったときの隙間時間には雑草対策をお願いします。

## 今年消費者を畑に呼ぼう！

今年農作物生産の他に、収穫体験、お散歩 BINGO、謎解き畑歩きなど、消費者を畑に呼ぶイベントを企画しております。農業のかわいいところ、楽しいところ、美味しい作物を感じてもらえるような企画を考えております。企画がまとまりましたら、またご報告と相談をさせていただきます。また少し先にはなりますが、8/21~9/22は昨年に引き続き、県立広島大学の学生さんが研修に来られます。学生さんからの質問があれば、お応えいただければ幸いです。